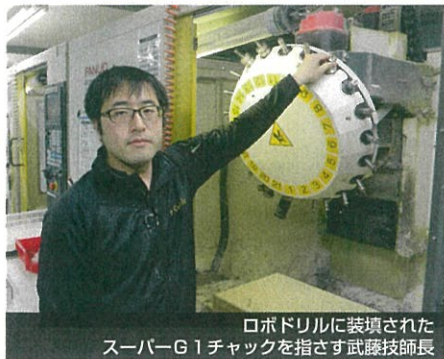


樹脂加工の試作で明日の日本のものづくりをサポート

— JPキュービック(愛知県・豊川市) ユキワユーザー訪問 —



ロボドリルに装填されたスーパーG1チャックを指さす武藤技師長

外観は、都心の美容室風、扉を開けるとまるで何かのファッションイベント会場に紛れ込んだようなおしゃれな室内レイアウトに目が釘付けになる。

樹脂加工の試作をメインに手掛け、設立は2005年の5月。創業から13年が経過している。「当社で作られた製品自体が、品質を保証していくものでなければならぬ」との信念を抱く伊藤切削加工を請け負うよう

Ra9ナノレベルの鏡面を標榜
「精度モノには必ず適用」
(武藤技師長)

ビビリ抑制で商社に相談、スーパーG1チャックに「遭遇」

「顧客は、関東を中心に100数十社を数えるが、仕事の70〜75%は「特命」で請け取り、それ以外では、仕事内容を当社が選択するという筋金入りのプロ。試作は「品ものである」出しても「夕刻に図面が張るような実績だ。現場には、フナック、マザック、DMG森のNC旋盤やマシンングセンタが並ぶ。入社8年目になる武藤雅也技師長は、現場で課題となっていた「ビビリの抑制」について、2年前に取引商社に相談したところ、ユキワ精工のスーパーG1チャックを勧められた。切削条件やワークのクランプ強度、それに問題視していた刃物のビビリ等を他社製と比較。結果は



工場内も実に「端正」だ

4月の1人当たりの生産金額は600万円
1ロットは1個から数十個



検査室も測定器そのものの充実にとどまらない。実におしゃれ

検査設備も充実、対外的に品証の対応も

仕事の70%〜75%が「特命」
「請け負う仕事内容は当社が選択する」(伊藤雅彦社長)

高精度ツールリングシステム
スーパーG1チャック



精度をとことん突き詰めると、コレット式に辿り着く



保証!

ユキワだけ精度を
しています

YUKIWA ユキワ精工株式会社
スーパーG1チャック 検索
<http://www.yukiwa.co.jp/>

